

第5章 事業者アンケート

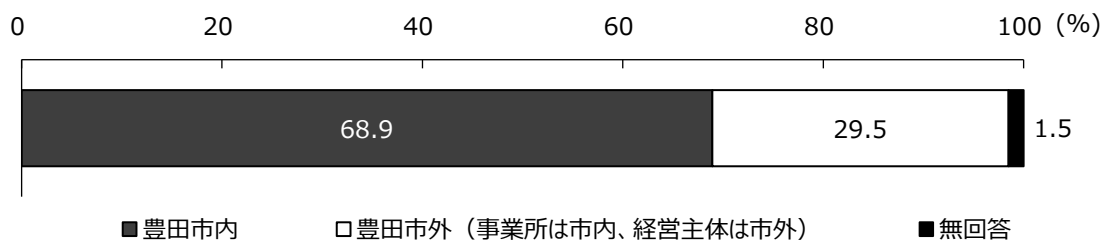
1 法人について

(1) 本部・本社の所在地

■ 経営主体の本部・本社の所在地は、どちらですか。(○は1つ)

n=132

「豊田市内」が68.9%、「豊田市外」が29.5%となっています。

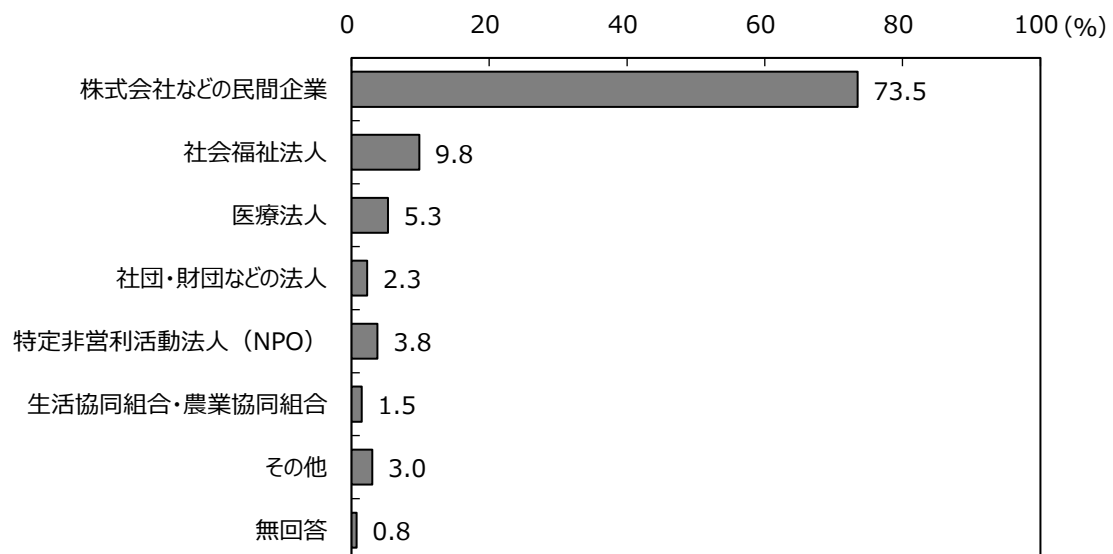


(2) 組織形態

■ 経営主体の組織形態として、あてはまるものはどれですか。(○は1つ)

n=132

「株式会社などの民間企業」が73.5%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が9.8%、「医療法人」が5.3%となっています。



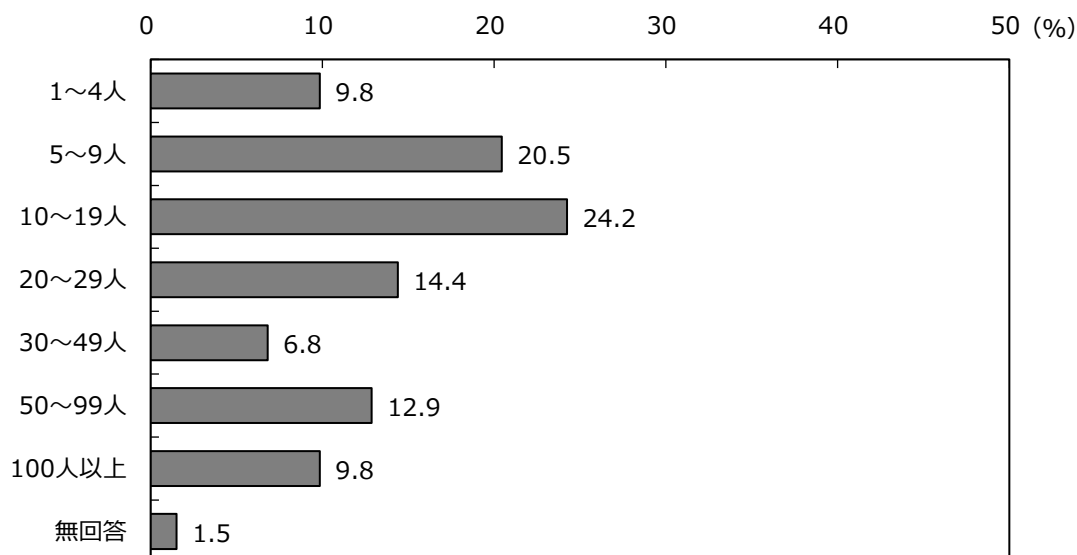
(3) 豊田市内で、介護保険サービスに従事する従業員数

- 貴法人において豊田市内で、介護保険サービスに従事する従業員数の合計は何人ですか。(○は1つ)
 ※事務職員等を含めてすべての従業員数を教えてください。また非常勤職員も、1人として換算してください。

n=132

「10～19人」(24.2%)、「5～9人」(20.5%)、「20～29人」(14.4%)の順に高くなっています。

事業別でみると、通所系および訪問系は「5～9人」「10～19人」の割合が他と比べて高くなっています。一方で施設居住系は「20～29人」「50～59人」「100人以上」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	無回答
事業	通所系	43	2.3	20.9	37.2	11.6	7.0	14.0	4.7	2.3
	施設居住系	29	0.0	0.0	0.0	27.6	10.3	27.6	34.5	0.0
	訪問系	58	20.7	31.0	24.1	10.3	5.2	5.2	1.7	1.7

通所系：豊田市内で通所系サービスを提供し、施設居住系サービスを提供していない事業者

施設居住系：豊田市内で施設居住系サービスを提供している事業者

訪問系：豊田市内で、訪問系もしくは居宅介護支援もしくは福祉用具等のサービスを提供し、施設居住系サービス・通所サービスを提供していない事業者

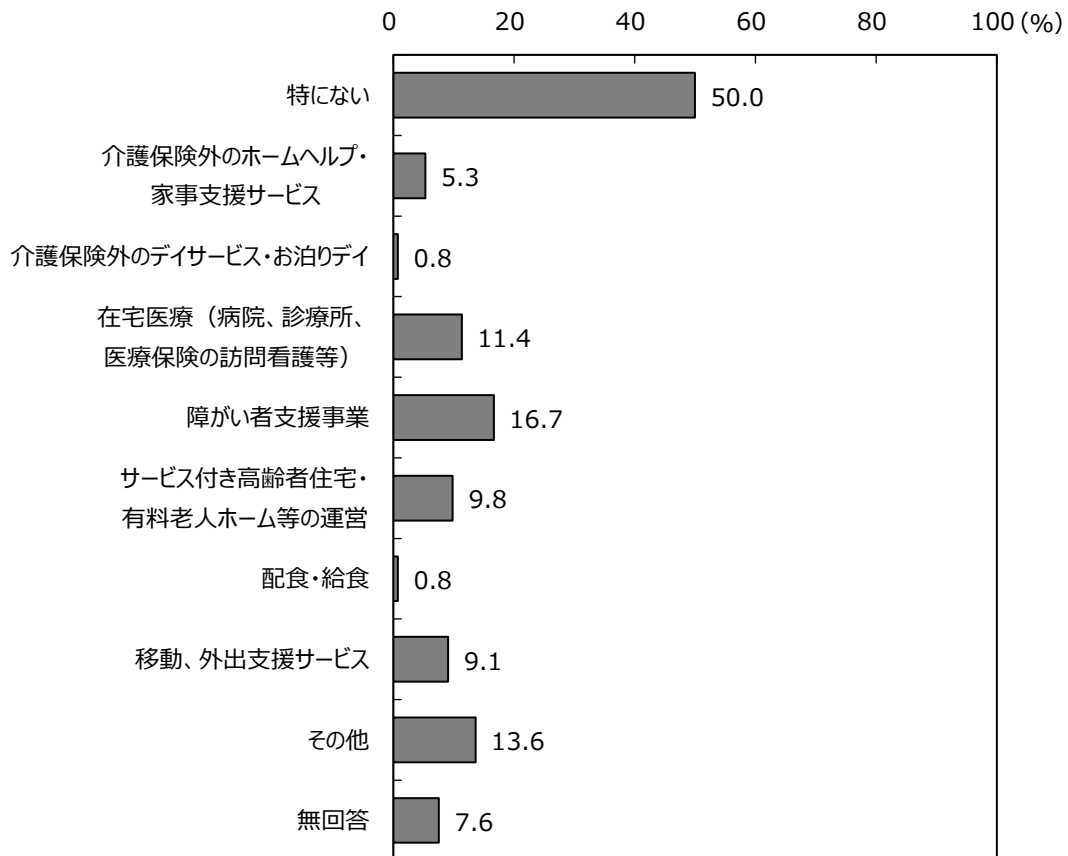
(4) 豊田市内での、介護保険サービス以外の事業実施状況

■ 「豊田市内」で介護保険サービス以外にどのような事業を実施していますか。また、拡大等の意向がありますか。A Bそれぞれお答えください。(あてはまるものすべてに○)

n=132

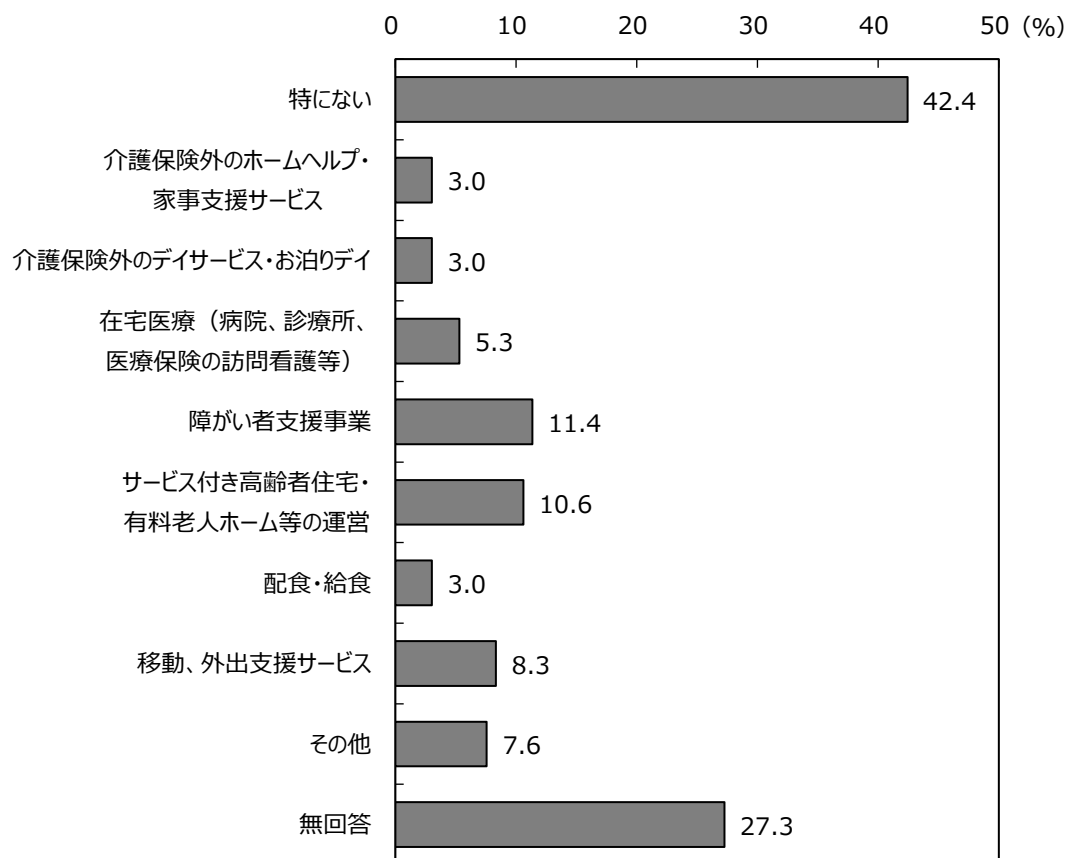
①豊田市内で介護保険サービス以外に提供しているサービス

「特にない」が 50.0%と最も高く、次いで「障がい者支援事業」が 16.7%、「その他」が 13.6%、「在宅医療（病院、診療所、医療保険の訪問看護等）」が 11.4%となっています。



②豊田市内で介護保険サービス以外に拡大・新たに実施したいサービス

「障がい者支援事業」が 11.4%、「サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム等の運営」が 10.6%、「移動、外出支援サービス」が 8.3%となっています。



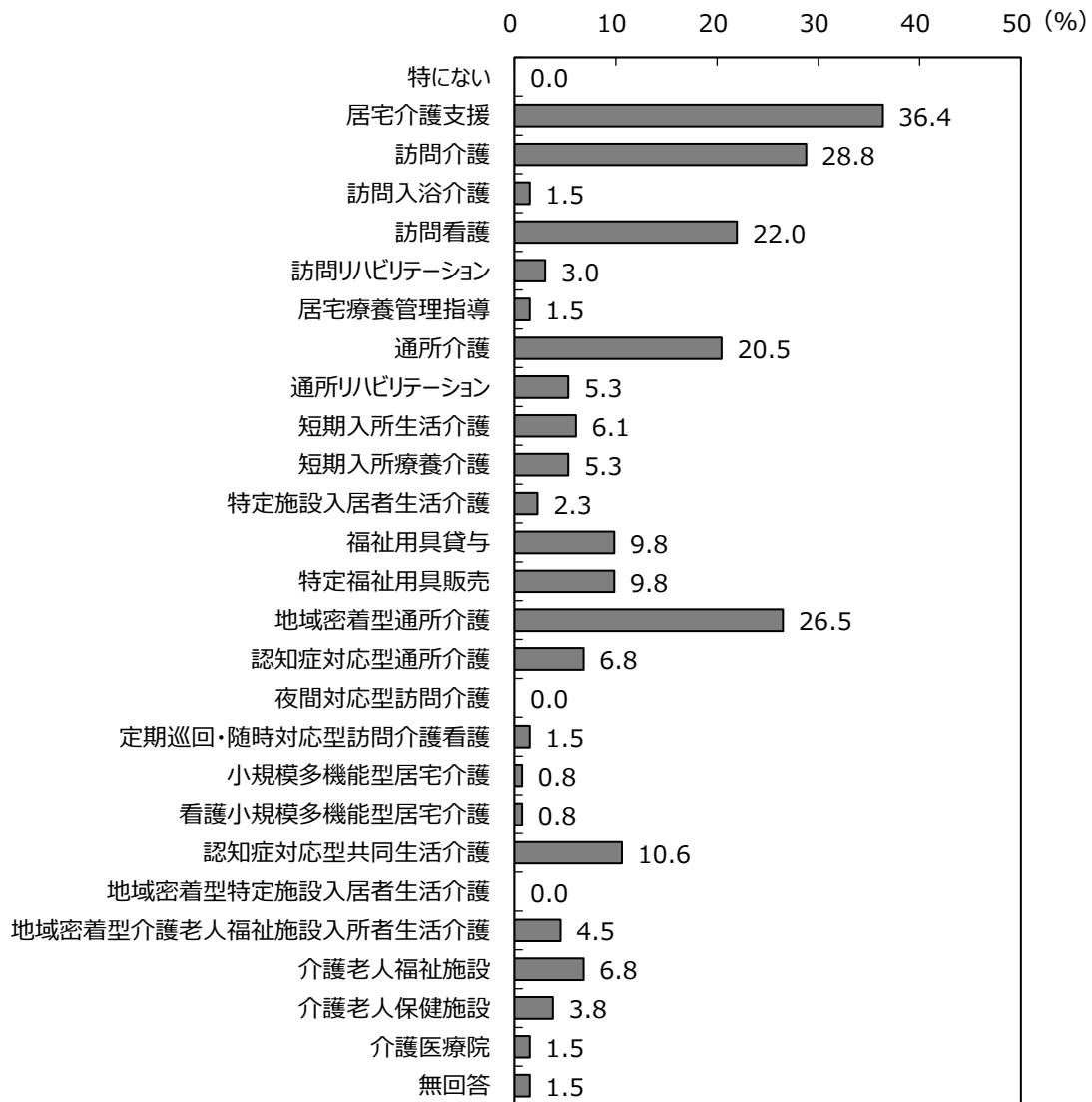
(5) 豊田市内でのサービス提供状況

■ 次のサービス（予防サービス・総合事業を含む）について、貴法人による豊田市内での、提供状況、今後の意向について、A Bそれぞれお答えください。（あてはまるものすべてに○）

n=132

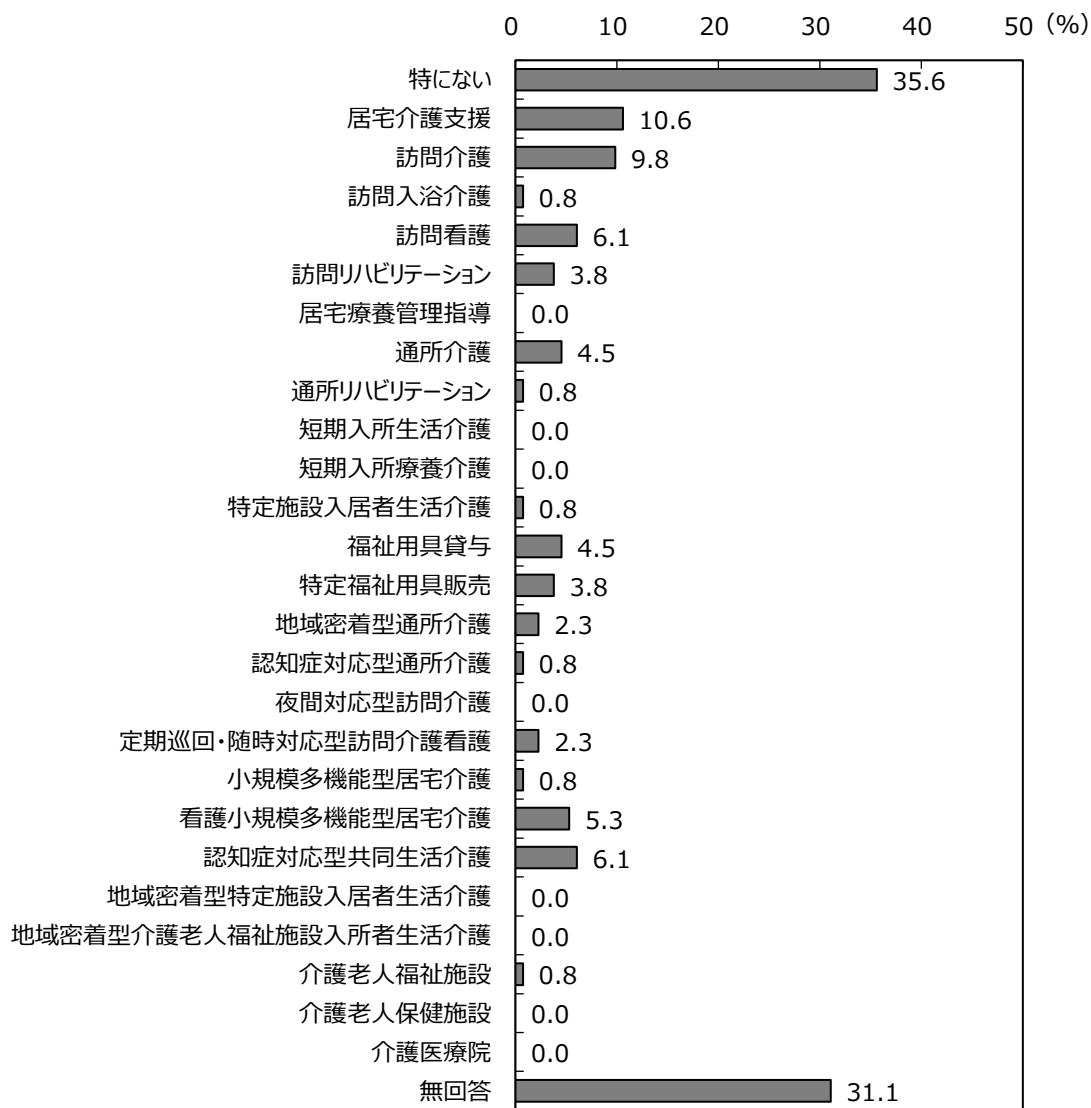
①豊田市内で提供しているサービス

「居宅介護支援」が 36.4%と最も高く、次いで「訪問介護」が 28.8%、「地域密着型通所介護」が 26.5%、「訪問看護」が 22.0%、「通所介護」が 20.5%となっています。



②豊田市内で拡大・新たに実施したいサービス

「居宅介護支援」が10.6%、「訪問介護」が9.8%となっています。



2 運営について

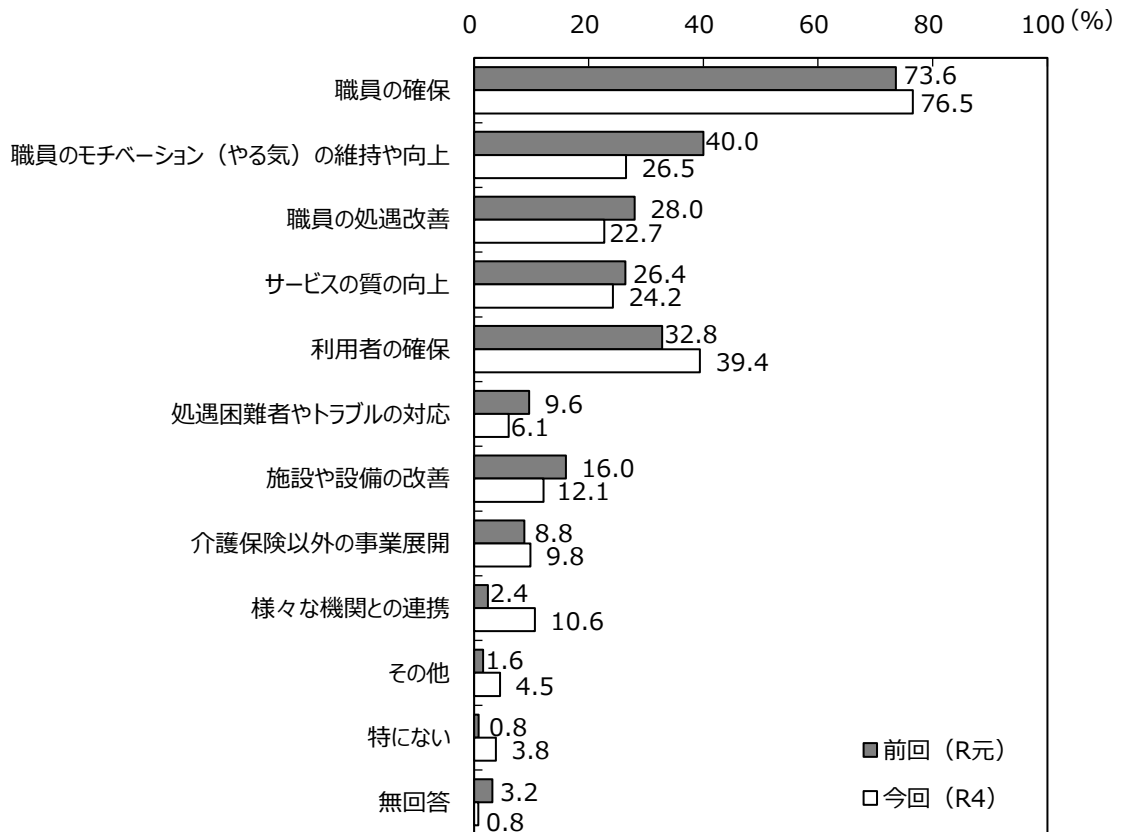
(1) 運営上の課題

■ 貴法人において豊田市内の事業所での運営にあたり、特にどのようなことが課題となっていますか。(○は3つまで)

n=132

「職員の確保」が76.5%と最も高く、次いで「利用者の確保」が39.4%、「職員のモチベーション（やる気）の維持や向上」が26.5%、「サービスの質の向上」が24.2%、「職員の処遇改善」が22.7%となっています。前回と比べると、「職員のモチベーション（やる気）の維持や向上」「職員の処遇改善」が減少し、「利用者の確保」が増加しています。

従業員数別・事業・退職率別でも、総じて「職員の確保」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	職員の確保	職員のモチベーション(やる気)の維持や向上	職員の処遇改善	サービスの質の向上	利用者の確保	処遇困難者やトラブルの対応	施設や設備の改善	介護保険以外の事業展開	様々な機関との連携
従業員数	9人以下	40	60.0	27.5	25.0	22.5	42.5	10.0	2.5	7.5	12.5
	10～19人	32	65.6	18.8	28.1	25.0	46.9	6.3	12.5	12.5	12.5
	20～49人	28	100.0	32.1	17.9	28.6	35.7	0.0	10.7	10.7	0.0
	50人以上	30	86.7	30.0	16.7	20.0	30.0	6.7	26.7	10.0	13.3
事業	通所系	43	72.1	9.3	37.2	16.3	46.5	0.0	11.6	11.6	9.3
	施設居住系	29	93.1	31.0	13.8	24.1	37.9	6.9	31.0	6.9	6.9
	訪問系	58	74.1	37.9	17.2	29.3	34.5	10.3	3.4	10.3	12.1
退職率	1割未満	40	67.5	17.5	32.5	20.0	50.0	5.0	12.5	10.0	15.0
	1割以上2割未満	29	89.7	31.0	20.7	20.7	27.6	3.4	17.2	6.9	6.9
	2割以上	30	93.3	26.7	23.3	20.0	33.3	0.0	6.7	10.0	3.3

単位：%

		n	その他	特にない	無回答
従業員数	9人以下	40	2.5	12.5	0.0
	10～19人	32	6.3	0.0	3.1
	20～49人	28	0.0	0.0	0.0
	50人以上	30	10.0	0.0	0.0
事業	通所系	43	9.3	2.3	0.0
	施設居住系	29	3.4	0.0	0.0
	訪問系	58	1.7	6.9	0.0
退職率	1割未満	40	5.0	7.5	0.0
	1割以上2割未満	29	6.9	0.0	0.0
	2割以上	30	6.7	0.0	3.3

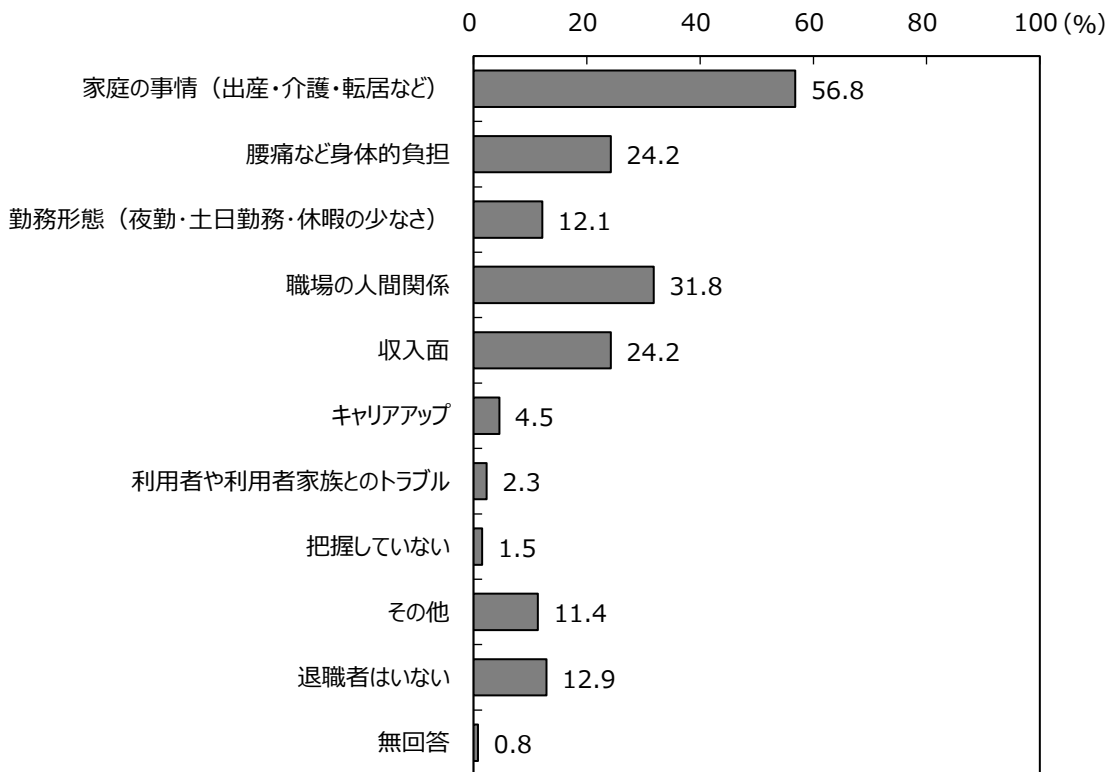
(2) 特に多い離職事由

■ 貴法人において豊田市内の事業所での職員の離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。(○は3つまで)

n=132

「家庭の事情（出産・介護・転居など）」が 56.8%と最も高く、次いで「職場の人間関係」が 31.8%、「腰痛など身体的負担」と「収入面」が 24.2%となっています。

事業別でみると、施設居住系で「家庭の事情（出産・介護・転居など）」「腰痛など身体的負担」「職場の人間関係」の割合が他と比べて高くなっています。退職率別では、2割以上で「職場の人間関係」「収入面」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：％

		n	家庭の事情 (出産・ 介護・転居など)	腰痛など 身体的負担	勤務形態 (夜勤・土日 勤務・休暇の 少なさ)	職場の 人間関係	収入面	キャリア アップ	利用者 や利用者 家族との トラブル	把握して いない	その他
従業員数	9人以下	40	40.0	2.5	12.5	15.0	12.5	2.5	5.0	2.5	10.0
	10～19人	32	53.1	34.4	9.4	25.0	28.1	6.3	3.1	0.0	18.8
	20～49人	28	60.7	25.0	17.9	53.6	14.3	10.7	0.0	0.0	14.3
	50人以上	30	76.7	40.0	10.0	43.3	40.0	0.0	0.0	3.3	3.3
事業	通所系	43	51.2	27.9	9.3	27.9	30.2	0.0	4.7	2.3	20.9
	施設居住系	29	75.9	48.3	10.3	55.2	27.6	6.9	0.0	0.0	6.9
	訪問系	58	51.7	10.3	15.5	24.1	17.2	6.9	1.7	1.7	6.9
退職率	1割未満	40	57.5	22.5	5.0	30.0	15.0	5.0	2.5	2.5	20.0
	1割以上2割未満	29	62.1	34.5	24.1	27.6	31.0	3.4	0.0	0.0	6.9
	2割以上	30	73.3	33.3	20.0	46.7	40.0	0.0	3.3	0.0	3.3

単位：％

		n	退職者 はいない	無回答
従業員数	9人以下	40	35.0	0.0
	10～19人	32	6.3	3.1
	20～49人	28	0.0	0.0
	50人以上	30	3.3	0.0
事業	通所系	43	9.3	0.0
	施設居住系	29	0.0	0.0
	訪問系	58	22.4	0.0
退職率	1割未満	40	17.5	0.0
	1割以上2割未満	29	3.4	0.0
	2割以上	30	0.0	3.3

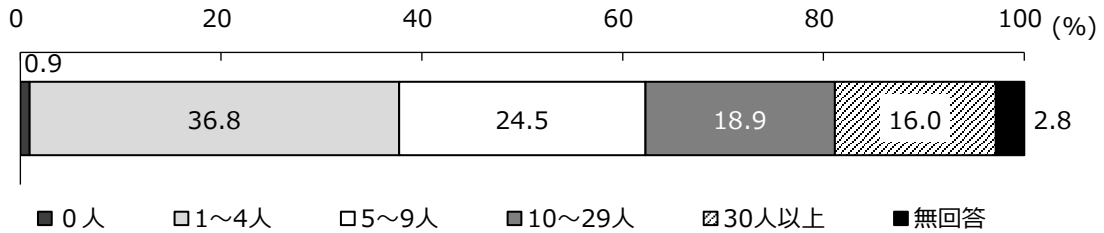
3 介護職員の人材について

(1) 常勤の介護職員数

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「1～4人」が36.8%と最も高くなっています。

事業別でみると、通所系および訪問系は「1～4人」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

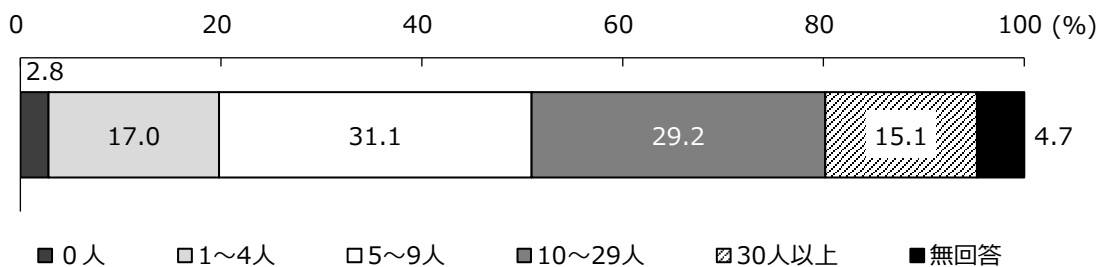
		n	0人	1~4人	5~9人	10~29人	30人以上	無回答
事業	通所系	42	2.4	47.6	21.4	16.7	7.1	4.8
	施設居住系	29	0.0	0.0	20.7	31.0	48.3	0.0
	訪問系	33	0.0	51.5	33.3	12.1	0.0	3.0

(2) 非常勤の介護職員数

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「5～9人」が31.1%と最も高くなっています。

事業別でみると、通所系および訪問系は「1～4人」「5～9人」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

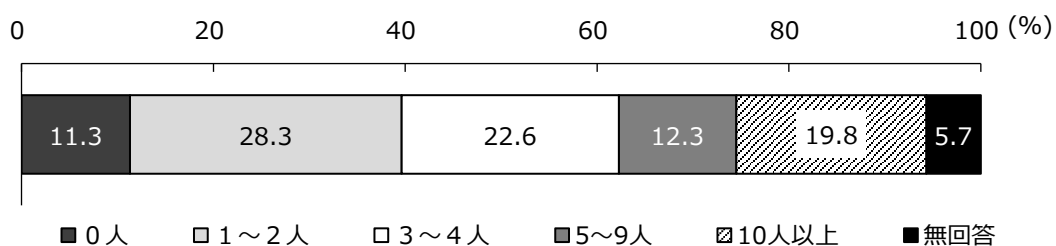
		n	0人	1~4人	5~9人	10~29人	30人以上	無回答
事業	通所系	42	2.4	21.4	38.1	23.8	9.5	4.8
	施設居住系	29	3.4	3.4	10.3	51.7	31.0	0.0
	訪問系	33	3.0	24.2	36.4	18.2	9.1	9.1

(3) 1年間の介護職員の採用者数

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「1～2人」が28.3%と最も高く、次いで「3～4人」が22.6%、「10人以上」が19.8%となっています。

事業別でみると、施設居住系は「10人以上」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	0人	1～2人	3～4人	5～9人	10人以上	無回答
従業員数	9人以下	24	25.0	37.5	16.7	8.3	0.0	12.5
	10～19人	26	23.1	30.8	34.6	3.8	3.8	3.8
	20～49人	25	0.0	32.0	28.0	16.0	16.0	8.0
	50人以上	30	0.0	13.3	13.3	20.0	53.3	0.0
事業	通所系	42	16.7	28.6	21.4	14.3	14.3	4.8
	施設居住系	29	0.0	24.1	24.1	6.9	37.9	6.9
	訪問系	33	15.2	30.3	21.2	15.2	12.1	6.1

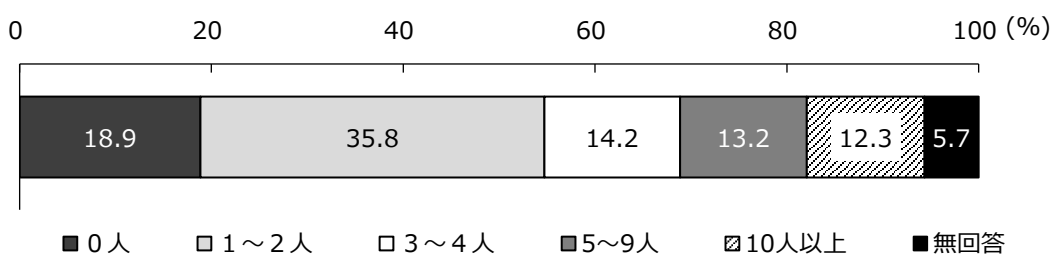
(4) 1年間の介護職員の退職者数

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

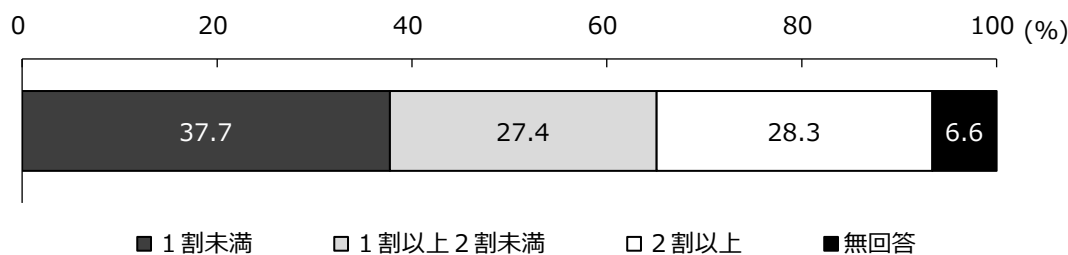
「1～2人」が35.8%と最も高くなっています。「0人」が18.9%です。退職者の割合については、「2割以上」が28.3%となっています。

従業員数別、事業別でも、大きな違いはみられません。

○退職者数



○介護職員数（常勤・非常勤の合計）に占める退職者の割合



単位：%

		n	1割未満	1割以上2割未満	2割以上	無回答
従業員数	9人以下	24	45.8	16.7	20.8	16.7
	10～19人	26	34.6	26.9	34.6	3.8
	20～49人	25	28.0	28.0	36.0	8.0
	50人以上	30	43.3	36.7	20.0	0.0
事業	通所系	42	38.1	26.2	31.0	4.8
	施設居住系	29	44.8	24.1	24.1	6.9
	訪問系	33	30.3	33.3	27.3	9.1

(5) 介護職員について、採用したい人

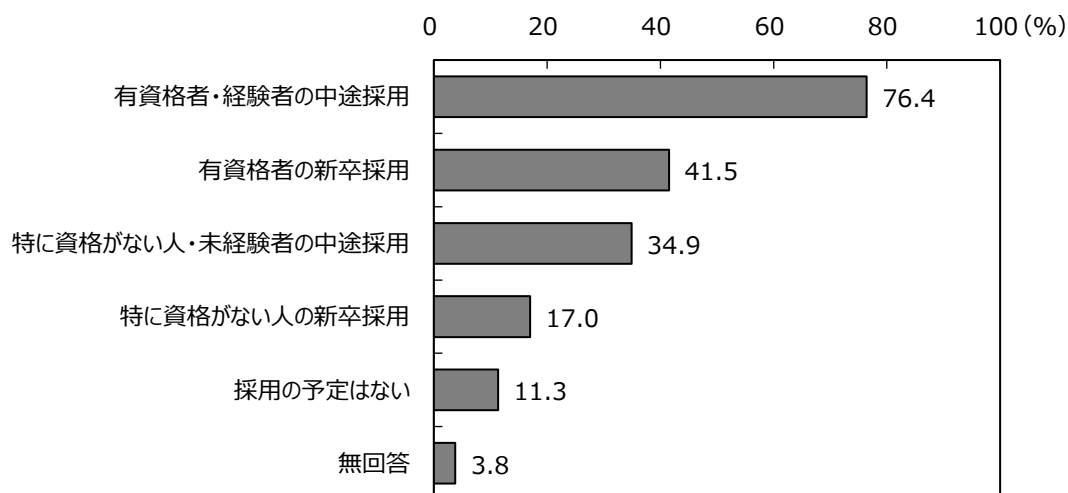
■ 介護職員について、どのような人を採用したいですか。(○は3つまで)

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

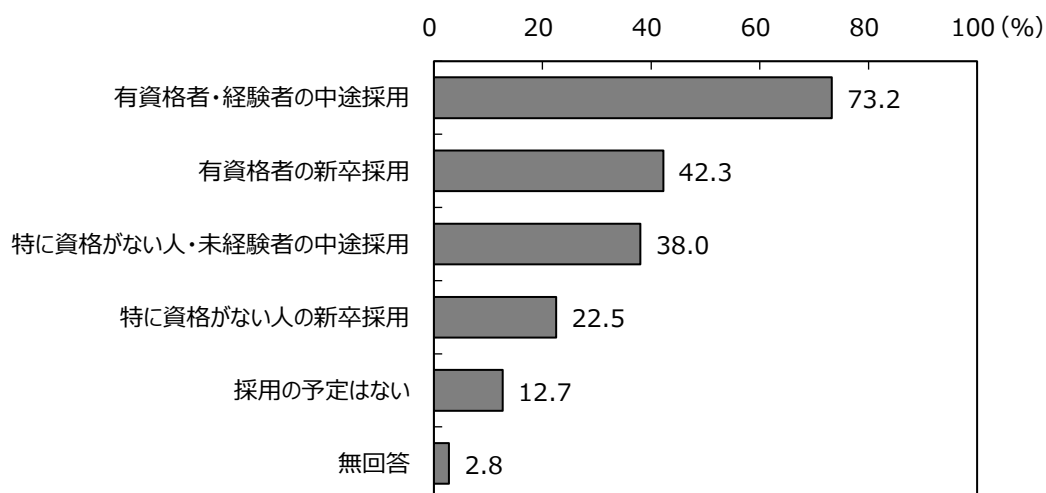
(参考) 介護職員が配置されている通所・施設の事業者 n=71

「有資格者・経験者の中途採用」が 76.4%と最も高く、次いで「有資格者の新卒採用」が 41.5%、「特に資格がない人・未経験者の中途採用」が 34.9%となっています。

事業別でみると、施設居住系は「有資格者・経験者の中途採用」「有資格者の新卒採用」の割合が他と比べて高くなっています。



参考：介護職員が配置されている通所・施設の事業者



単位：%

		n	有資格者・経験者の中 途採用	有資格者の新 卒採用	特に資 格がない 人・未経 験者の 中途採 用	特に資 格がない 人の新 卒採用	採用の 予定は ない	無回答
従 業 員 数	9人以下	24	54.2	16.7	12.5	12.5	33.3	12.5
	10～19人	26	76.9	50.0	53.8	7.7	7.7	3.8
	20～49人	25	92.0	36.0	44.0	8.0	4.0	0.0
	50人以上	30	83.3	56.7	30.0	33.3	3.3	0.0
事 業	通所系	42	59.5	35.7	38.1	21.4	19.0	4.8
	施設居住系	29	93.1	51.7	37.9	24.1	3.4	0.0
	訪問系	33	81.8	39.4	24.2	6.1	9.1	6.1

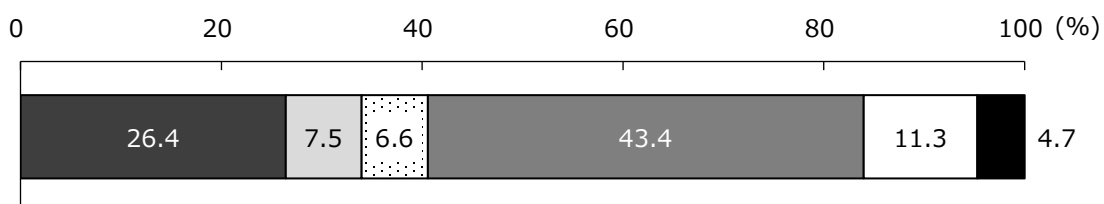
(6) 介護職員の採用活動で最も良くあるケース

■ 介護職員の採用活動の結果について、以下の中で最も良くあるケースについて教えてください。(○は1つ)

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「求人を出しても、応募がない、または足りない」が 43.4%と最も高く、次いで「求人を出すと応募があり、採用基準を満たすので採用する」が 26.4%です。

事業別でみると、施設居住系は「求人を出しても、応募がない、または足りない」の割合が他と比べて高くなっています。



- 求人を出すと応募があり、採用基準を満たすので採用する
- 求人を出すと応募があり、採用基準を満たさないが採用する
- 求人を出すと応募があり、採用基準を満たさないので採用しない
- 求人を出しても、応募がない、または足りない
- 近年、採用活動を行っていない
- 無回答

単位：%

	n	求人を出すと応募があり、採用基準を満たすので採用する	求人を出すと応募があり、採用基準を満たさないが採用する	求人を出すと応募があり、採用基準を満たさない	求人を出しても、応募がない、または足りない	近年、採用活動を行っていない	無回答	
従業員数	9人以下	24	16.7	4.2	0.0	41.7	25.0	12.5
	10～19人	26	38.5	3.8	11.5	19.2	23.1	3.8
	20～49人	25	28.0	8.0	4.0	56.0	0.0	4.0
	50人以上	30	23.3	13.3	10.0	53.3	0.0	0.0
事業	通所系	42	35.7	4.8	4.8	31.0	19.0	4.8
	施設居住系	29	13.8	13.8	6.9	62.1	0.0	3.4
	訪問系	33	24.2	6.1	9.1	42.4	12.1	6.1

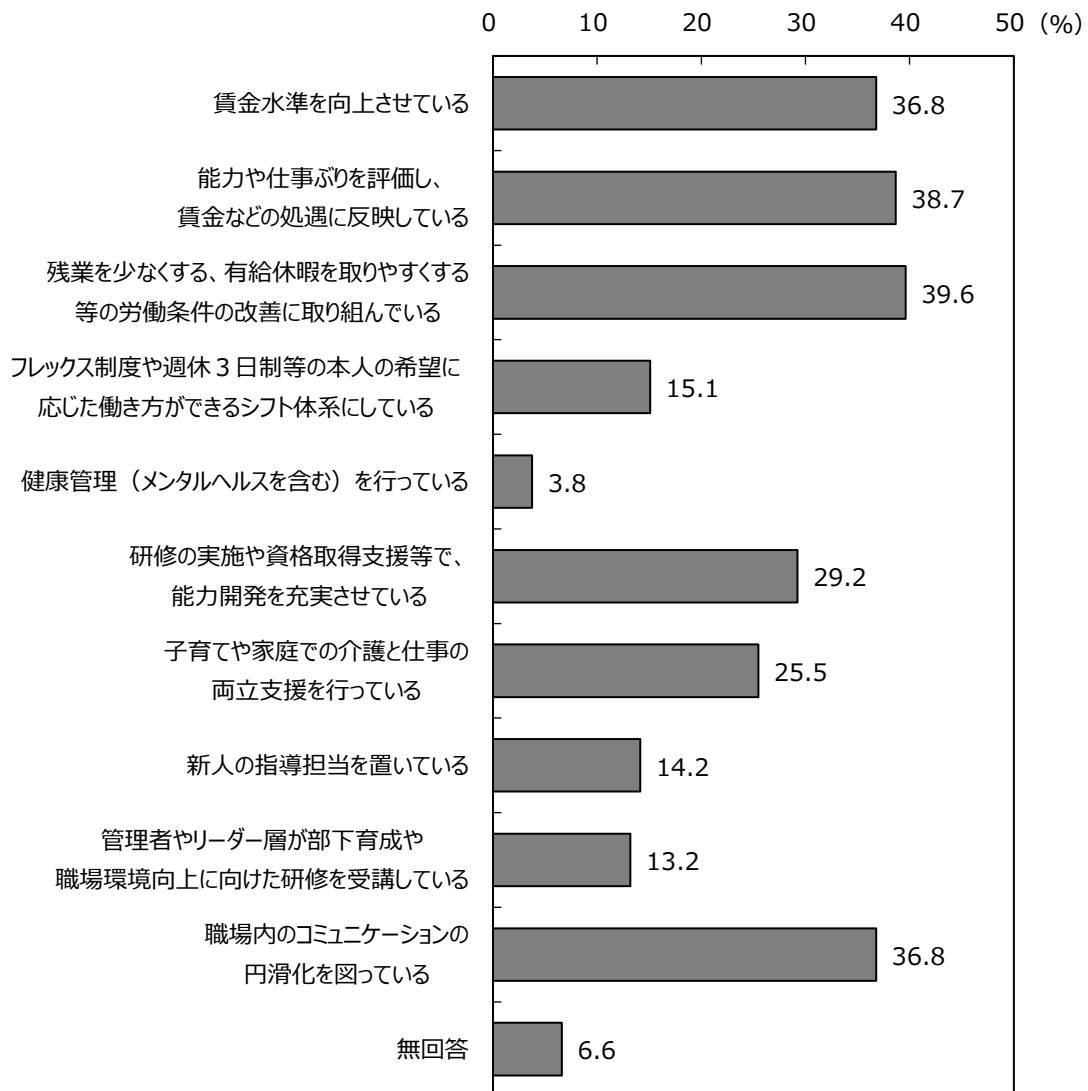
(7) 介護職員の採用、育成、定着のために力を入れている方策

■ 介護職員の採用や育成、定着のためにどのような方策に力を入れていますか。(〇は3つまで)

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる」(39.6%)、「能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している」(38.7%)、「賃金水準を向上させている」(36.8%)、「職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている」(36.8%)が高くなっています。

事業別でみると、施設居住系は「残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる」「研修の実施や資格取得支援等で、能力開発を充実させている」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくなる等の労働条件の改善に取り組んでいる	フレックス制度や週休3日制等の本人の希望に応じた働き方ができるシフト体系にしている	健康管理（メンタルヘルスを含む）を行っている	研修の実施や資格取得支援等で、能力開発を充実させている	子育てや家庭での介護と仕事の両立支援を行っている	新人の指導担当を置いている	管理者やリーダー層が部下育成や職場環境向上に向けた研修を受講している
従業員数	9人以下	24	25.0	20.8	20.8	29.2	4.2	8.3	25.0	0.0	0.0
	10～19人	26	42.3	53.8	30.8	3.8	7.7	19.2	30.8	7.7	3.8
	20～49人	25	44.0	44.0	56.0	16.0	0.0	44.0	12.0	20.0	16.0
	50人以上	30	33.3	33.3	46.7	13.3	3.3	43.3	33.3	26.7	30.0
事業	通所系	42	31.0	35.7	35.7	16.7	4.8	16.7	28.6	19.0	16.7
	施設居住系	29	44.8	41.4	58.6	6.9	0.0	44.8	27.6	17.2	20.7
	訪問系	33	36.4	36.4	30.3	21.2	6.1	30.3	18.2	6.1	3.0

単位：%

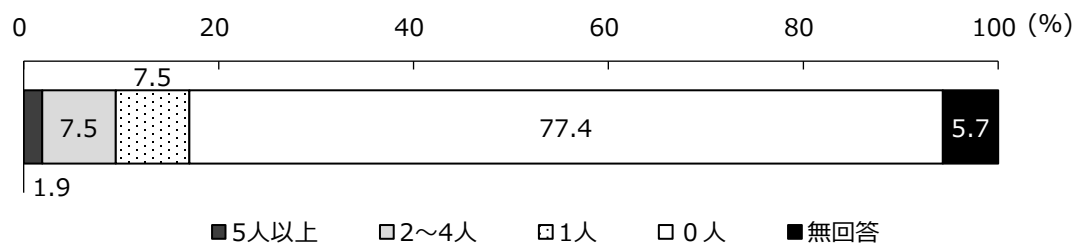
		n	職場内のコミュニケーションの円滑化を図っている	無回答
従業員数	9人以下	24	41.7	25.0
	10～19人	26	42.3	3.8
	20～49人	25	40.0	0.0
	50人以上	30	26.7	0.0
事業	通所系	42	45.2	4.8
	施設居住系	29	31.0	0.0
	訪問系	33	30.3	15.2

(8) 外国人人材の雇用状況

■ 現在、以下の就労項目で介護の仕事をしている外国人人材の人数を記入してください。(該当者がいない場合は0(ゼロ)を記入)

介護職員が配置されている事業者のみ n=106

「2～4人」と「1人」がともに7.5%です。



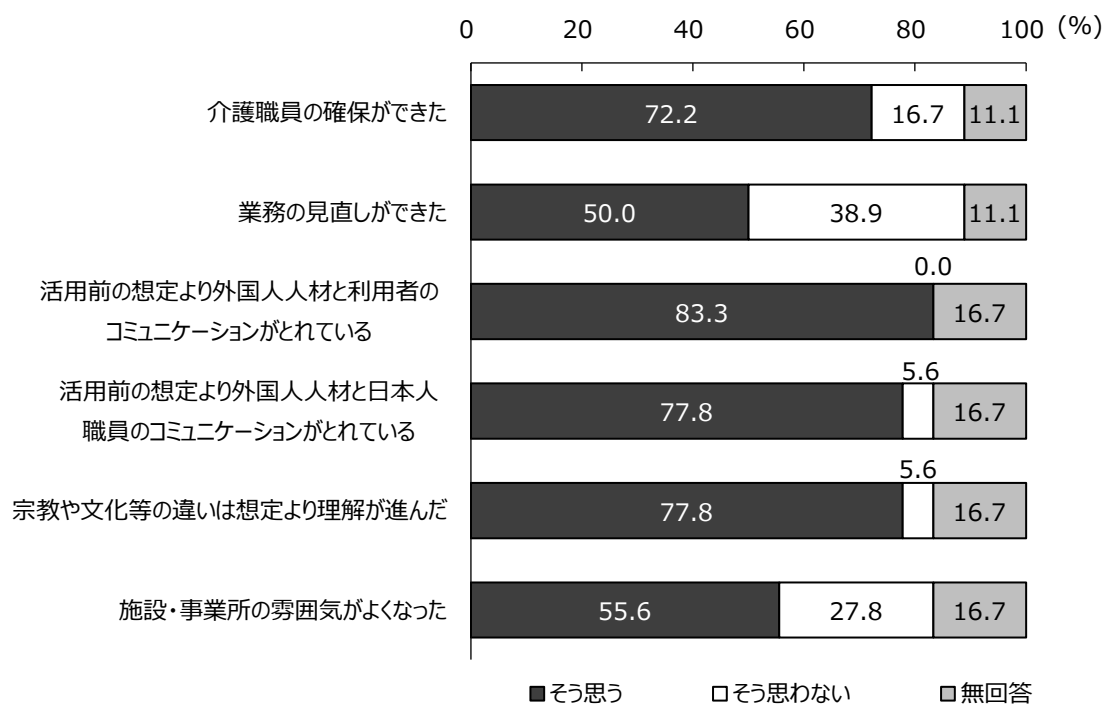
(9) 外国人人材の活用による変化

【外国人人材を雇用している事業者対象】
 ■ 外国人人材の活用によって、活用前と比べての変化や現在の状況を教えてください。(それぞれ1つずつ○)

該当の通所・施設の事業者 n=18

「活用前の想定より外国人人材と利用者のコミュニケーションがとれている」「活用前の想定より外国人人材と日本人職員のコミュニケーションがとれている」「宗教や文化等の違いは想定より理解が進んだ」で「そう思う」が高くなっています。

一方、「業務の見直しができた」「施設・事業所の雰囲気よかった」は「そう思う」「そう思わない」に回答が分かれています。



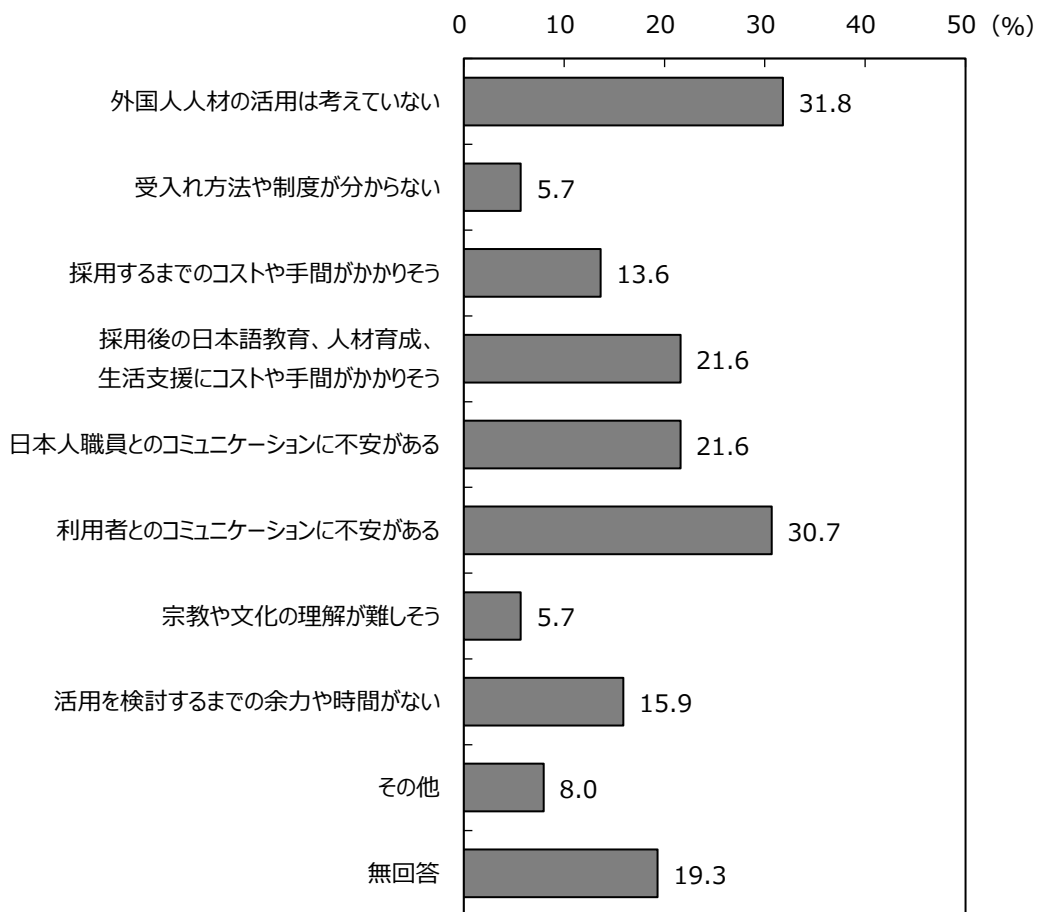
(10) 外国人人材の活用に当たって特に不安に思うこと

■ 外国人人材の活用に当たって特に不安に思うことを教えてください。(〇は3つまで)

外国人人材の介護職員がいない事業者 n=88

「外国人人材の活用は考えていない」(31.8%)、「利用者とのコミュニケーションに不安がある」(30.7%)が高くなっています。

事業別でみると、通所系は「外国人人材の活用は考えていない」、施設居住系は「採用後の日本語教育、人材育成、生活支援にコストや手間がかかりそう」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	外国人 人材の 活用は 考えてい ない	受入れ 方法や 制度が 分からな い	採用する までのコ ストや手 間がかか りそう	採用後 の日本 語教育、 人材育 成、生活 支援にコ ストや手 間がかか りそう	日本人 職員との コミュニ ケーション に不安が ある	利用者との コミュニ ケーション に不安が ある	宗教や 文化の 理解が 難しそう	活用を 検討する までの余 力や時 間がない	その他
事業	通所系	38	44.7	5.3	15.8	10.5	21.1	34.2	5.3	21.1	5.3
	施設居住系	18	22.2	0.0	27.8	55.6	27.8	22.2	11.1	11.1	11.1
	訪問系	29	24.1	10.3	3.4	17.2	20.7	31.0	3.4	10.3	10.3

単位：%

		n	無回答
事業	通所系	38	10.5
	施設居住系	18	16.7
	訪問系	29	27.6

4 業務の効率化・生産性向上について

(1) 業務の効率化や生産性向上に向けた法人の取組状況

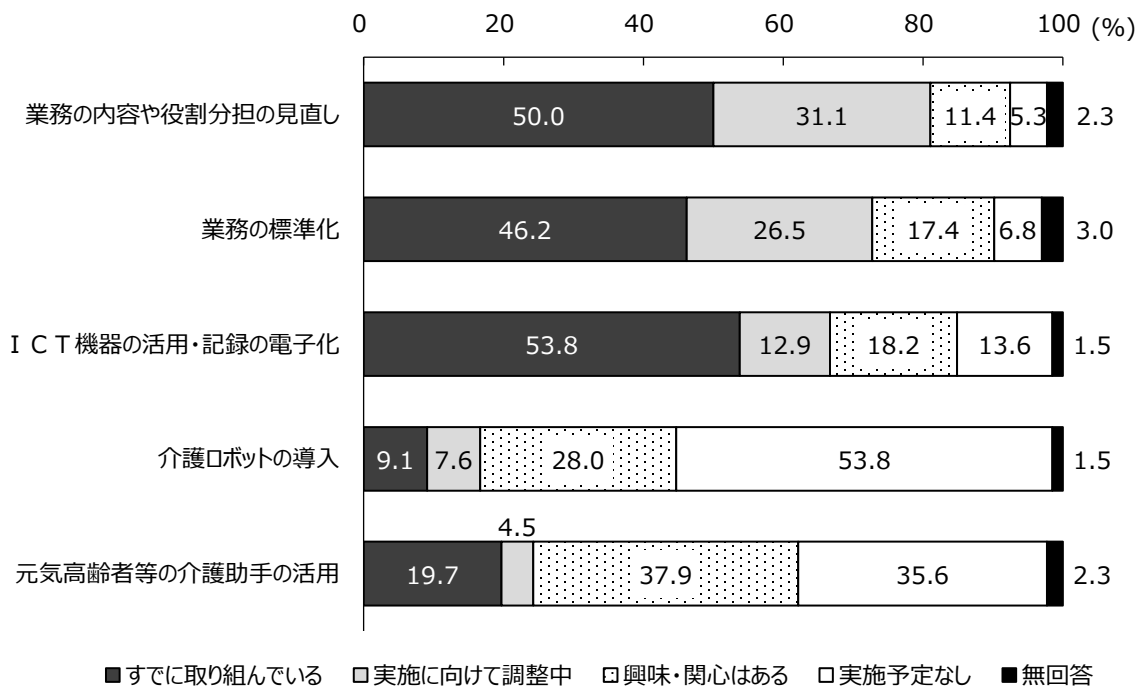
■ 業務の効率化や生産性向上に向けた法人の取組状況を教えてください。
(各項目1つずつ○)

n=132

「すでに取り組んでいる」について、「業務の内容や役割分担の見直し」で 50.0%、「業務の標準化」で 46.2%、「I C T 機器の活用・記録の電子化」で 53.8%、「介護ロボットの導入」で 9.1%、「元気高齢者等の介護助手」について 19.7%です。

I C T 機器の活用・記録の電子化について、事業別でみると、通所系は「実施予定なし」の割合が他と比べて高くなっています。従業員数別でみると、概ね従業員数が増えるに従い「すでに取り組んでいる」の割合が高くなっています。

元気高齢者等の介護助手について、事業別でみると、施設居住系は「すでに取り組んでいる」の割合が他と比べて高くなっています。



○業務の内容や役割分担の見直し

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	37.5	37.5	10.0	12.5	2.5
	10～19人	32	43.8	34.4	15.6	3.1	3.1
	20～49人	28	67.9	17.9	14.3	0.0	0.0
	50人以上	30	60.0	26.7	6.7	3.3	3.3
事業	通所系	43	55.8	23.3	9.3	9.3	2.3
	施設居住系	29	55.2	27.6	13.8	3.4	0.0
	訪問系	58	41.4	39.7	12.1	3.4	3.4

○業務の標準化（マニュアル作成等）

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	25.0	32.5	22.5	17.5	2.5
	10～19人	32	50.0	18.8	25.0	3.1	3.1
	20～49人	28	60.7	21.4	14.3	0.0	3.6
	50人以上	30	56.7	30.0	6.7	3.3	3.3
事業	通所系	43	48.8	18.6	18.6	11.6	2.3
	施設居住系	29	51.7	31.0	10.3	3.4	3.4
	訪問系	58	39.7	31.0	20.7	5.2	3.4

○ICT機器の活用・記録の電子化

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	40.0	7.5	22.5	27.5	2.5
	10～19人	32	37.5	15.6	28.1	15.6	3.1
	20～49人	28	64.3	14.3	14.3	7.1	0.0
	50人以上	30	76.7	16.7	6.7	0.0	0.0
事業	通所系	43	48.8	11.6	9.3	30.2	0.0
	施設居住系	29	72.4	13.8	10.3	3.4	0.0
	訪問系	58	48.3	13.8	27.6	6.9	3.4

○介護ロボットの導入

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	0.0	0.0	12.5	85.0	2.5
	10～19人	32	0.0	3.1	43.8	50.0	3.1
	20～49人	28	10.7	10.7	28.6	50.0	0.0
	50人以上	30	30.0	20.0	33.3	16.7	0.0
事業	通所系	43	7.0	4.7	32.6	55.8	0.0
	施設居住系	29	27.6	20.7	31.0	20.7	0.0
	訪問系	58	1.7	3.4	22.4	69.0	3.4

○元気高齢者等の介護助手（専門性を必要としない業務を担当）の活用

単位：%

		n	すでに取り組んでいる	実施に向けて調整中	興味・関心はある	実施予定なし	無回答
従業員数	9人以下	40	10.0	0.0	30.0	57.5	2.5
	10～19人	32	6.3	15.6	43.8	31.3	3.1
	20～49人	28	28.6	3.6	39.3	28.6	0.0
	50人以上	30	40.0	0.0	40.0	16.7	3.3
事業	通所系	43	18.6	11.6	30.2	37.2	2.3
	施設居住系	29	41.4	0.0	48.3	10.3	0.0
	訪問系	58	10.3	1.7	36.2	48.3	3.4

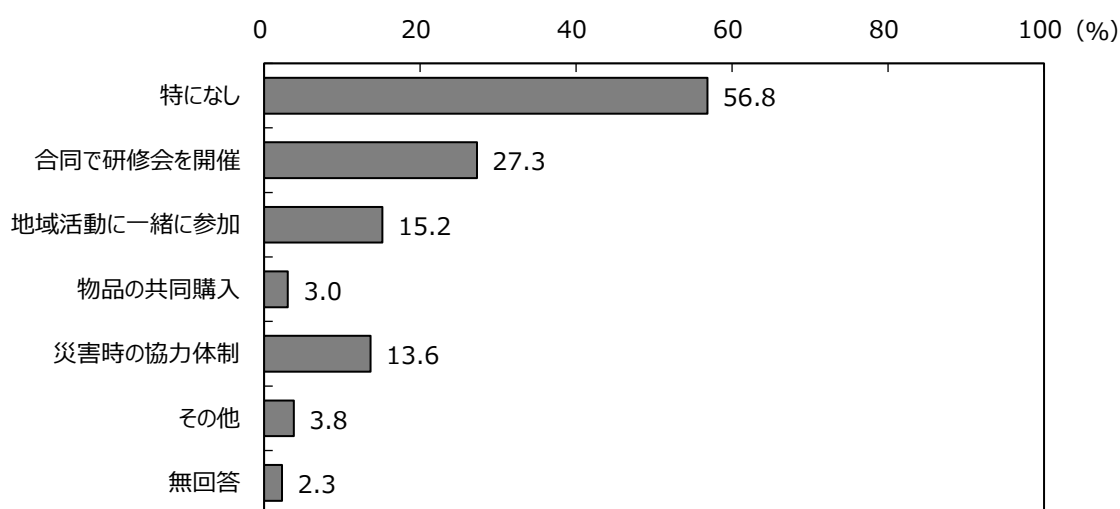
(2) 他の法人と一体的に取り組んでいる事業

■ 他の法人と一体的に取り組んでいる事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)

n=132

「特になし」が 56.8%と最も高く、次いで「合同で研修会を開催」が 27.3%、「地域活動と一緒に参加」が 15.2%、「災害時の協力体制」が 13.6%となっています。

事業別でみると、施設居住系は「災害時の協力体制」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	特になし	合同で 研修会 を開催	地域活 動に一 緒に参 加	物品の 共同購 入	災害時 の協力 体制	その他	無回答
従 業 員 数	9人以下	40	70.0	22.5	7.5	2.5	2.5	2.5	2.5
	10～19人	32	50.0	31.3	15.6	3.1	6.3	6.3	6.3
	20～49人	28	57.1	28.6	21.4	0.0	14.3	3.6	0.0
	50人以上	30	46.7	30.0	16.7	3.3	36.7	3.3	0.0
事 業	通所系	43	58.1	25.6	16.3	4.7	14.0	7.0	2.3
	施設居住系	29	48.3	24.1	17.2	0.0	27.6	3.4	0.0
	訪問系	58	60.3	29.3	13.8	3.4	6.9	1.7	3.4

5 地域での活動について

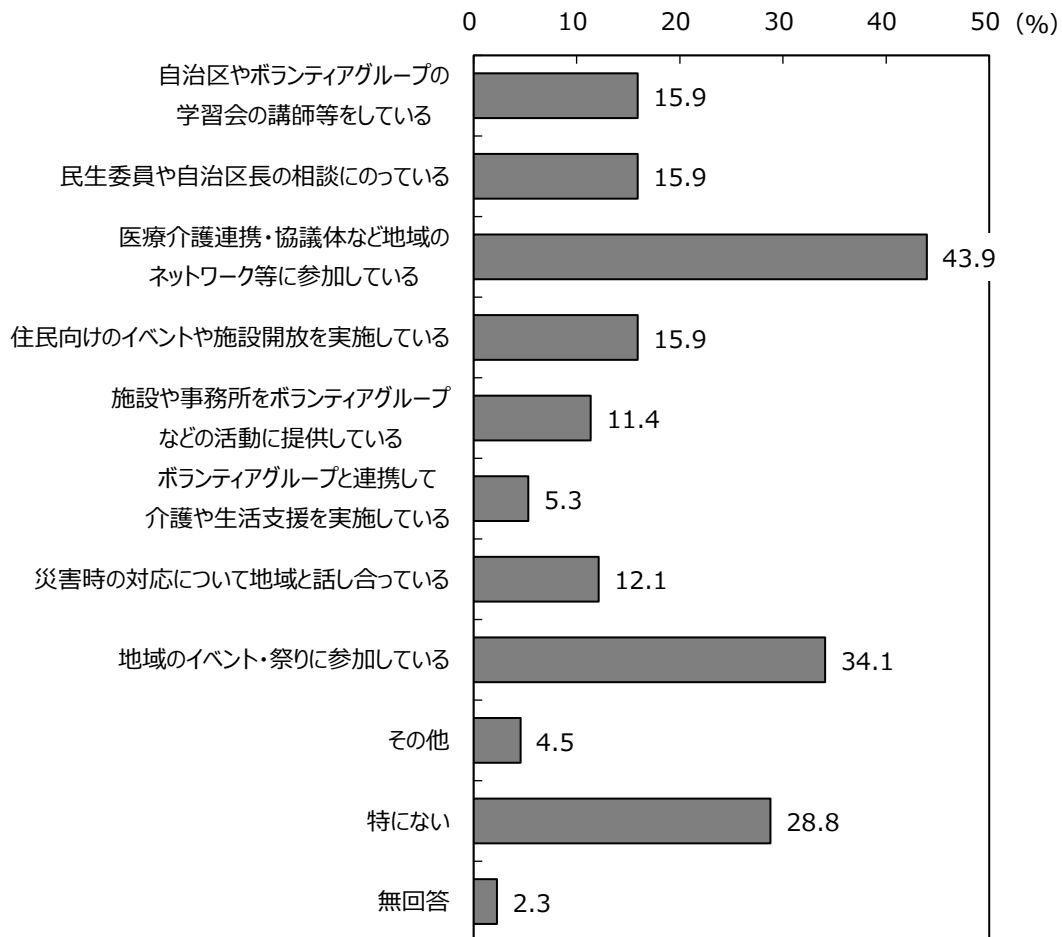
(1) 豊田市内で参加している地域活動

■ 豊田市内でどのような地域活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

n=132

「医療介護連携・協議体など地域のネットワーク等に参加している」が 43.9%と最も高く、次いで「地域のイベント・祭りに参加している」が 34.1%となっています。なお、「特にない」が 28.8%となっています。

従業員数別で見ると、50人以上は参加している活動の数が他と比べて多くなっています。



単位：%

		n	自治区 やボラン ティアグ ループの 学習会 の講師 等をして いる	民生委 員や自 治区長 の相談に のっている	医療介 護連携・ 協議体 など地域 のネット ワーク等 に参加し ている	住民向 けのイベ ントや施 設開放 を実施し ている	施設や 事務所 をボラン ティアグ ループな どの活動 に提供し ている	ボランティ アグルー プと連携 して介護 や生活 支援を 実施して いる	災害時 の対応に ついて地 域と話し 合っている	地域のイ ベント・ 祭りに参 加している	その他
従 業 員 数	9人以下	40	12.5	7.5	32.5	5.0	2.5	0.0	0.0	20.0	2.5
	10～19人	32	6.3	9.4	50.0	9.4	6.3	0.0	9.4	31.3	3.1
	20～49人	28	3.6	7.1	32.1	7.1	10.7	0.0	17.9	39.3	7.1
	50人以上	30	40.0	43.3	60.0	40.0	30.0	23.3	26.7	53.3	6.7
事 業	通所系	43	16.3	20.9	39.5	25.6	16.3	9.3	16.3	32.6	4.7
	施設居住系	29	27.6	34.5	48.3	27.6	24.1	10.3	31.0	62.1	6.9
	訪問系	58	10.3	3.4	44.8	3.4	1.7	0.0	0.0	20.7	3.4

単位：%

		n	特にな い	無回答
従 業 員 数	9人以下	40	50.0	0.0
	10～19人	32	21.9	6.3
	20～49人	28	21.4	3.6
	50人以上	30	16.7	0.0
事 業	通所系	43	34.9	0.0
	施設居住系	29	10.3	3.4
	訪問系	58	34.5	3.4

(2) 若年層との交流状況

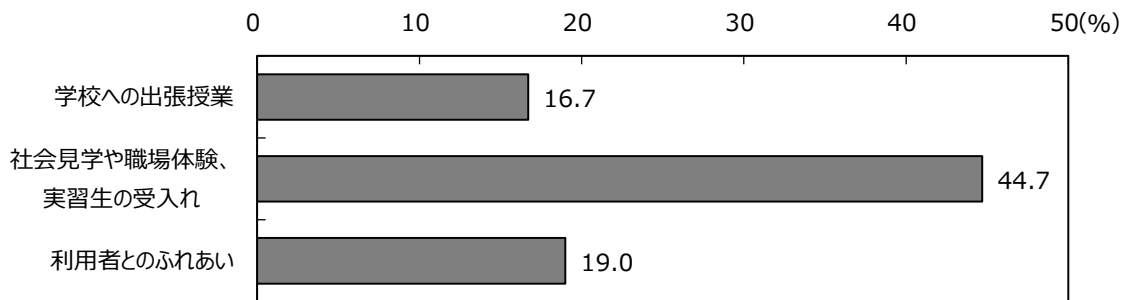
■ 令和元年度から現在までの、若年層（小学生・中学生・高校生・大学や専門学校生）との交流状況を教えてください。（それぞれ該当するものに○、その他は該当がある場合は記述）

n=132

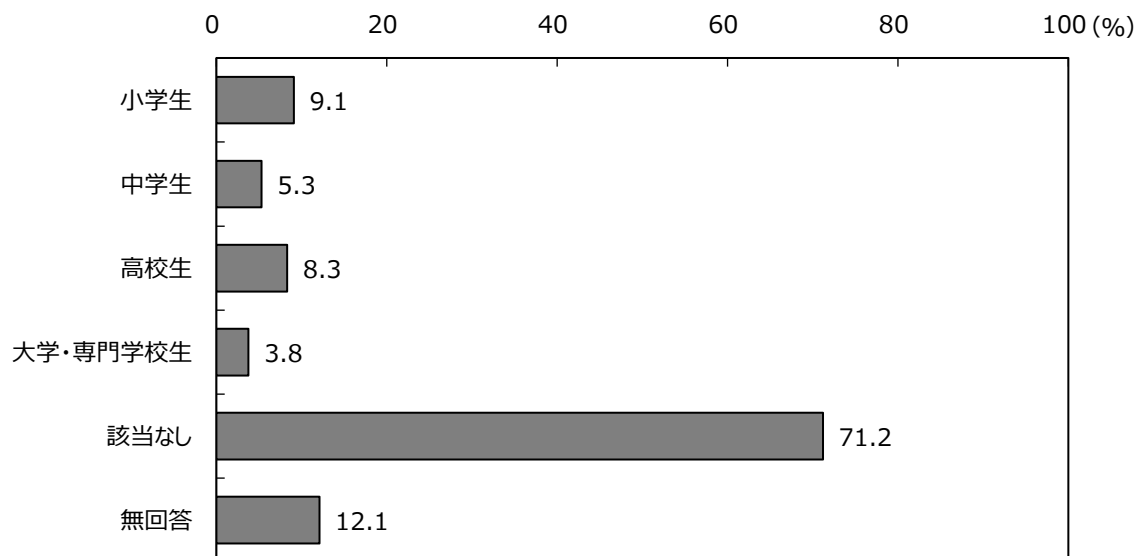
交流している割合（「全体」-「該当なし」-「無回答」）をみると、「学校への出張授業」が16.7%、「社会見学や職場体験、実習生の受入れ」が44.7%、「利用者とのふれあい」が19.0%となっています。「社会見学や職場体験、実習生の受入れ」については、「中学生」が26.5%、「大学・専門学校生」が25.0%となっています。

従業員数別でみると、50人以上はすべての項目で「実施している」の割合が他と比べて高くなっています。

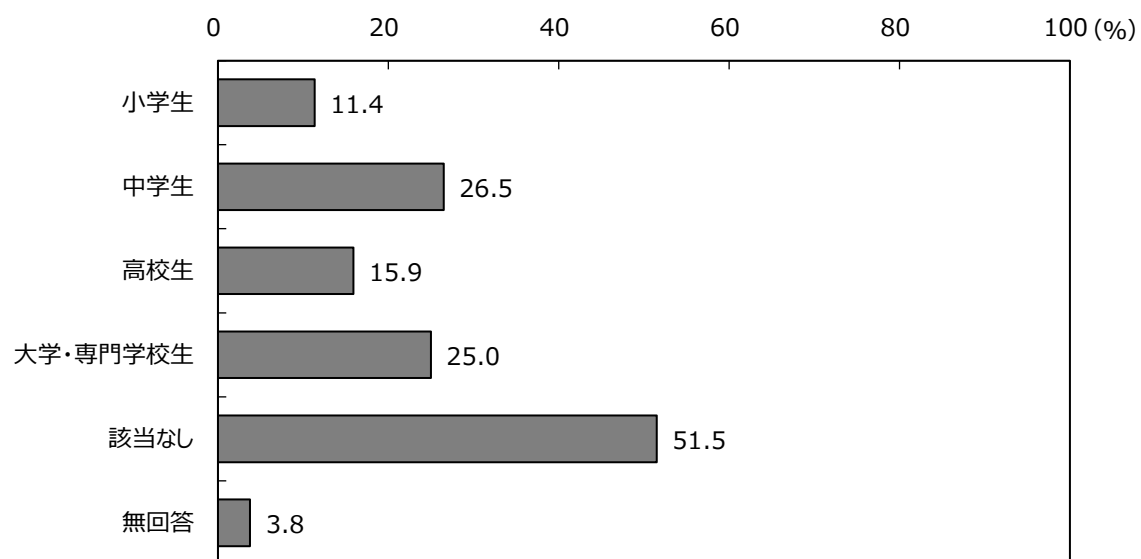
○交流している割合



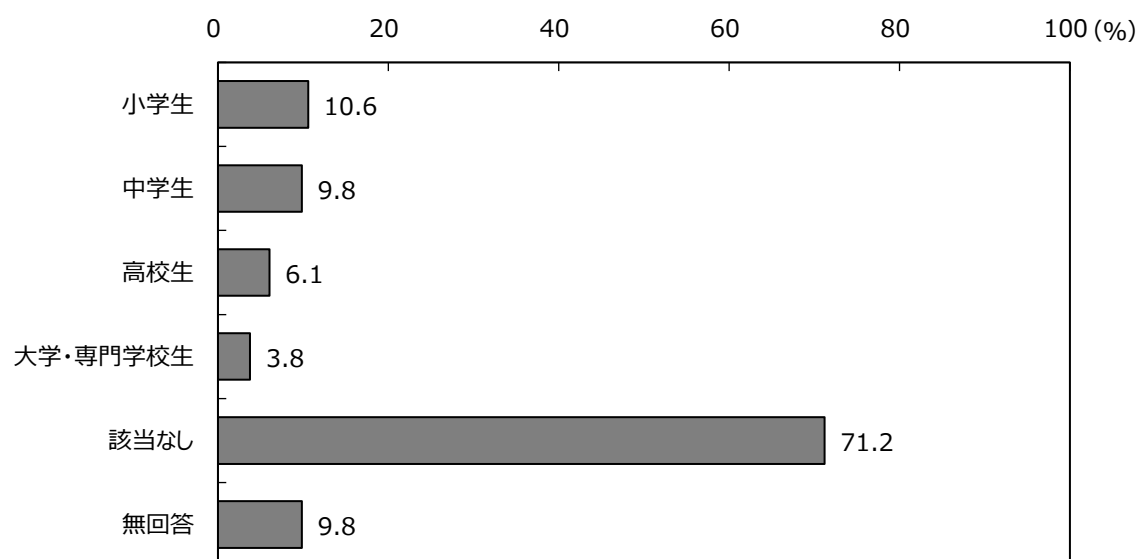
○学校への出張授業



○社会見学や職場体験、実習生の受入れ



○利用者とのふれあい（ボランティア、学生の発表見学、利用者の創作物を学校に提供等）



○「交流している」の割合

単位：%

		n	学校への出張授業	社会見学や職場体験、実習生の受入れ	利用者とのふれあい（ボランティア、学生の発表見学、利用者の創作物を学校に提供等）
従業員数	9人以下	40	7.5	22.5	5.0
	10～19人	32	9.4	43.8	21.9
	20～49人	28	10.7	35.7	21.4
	50人以上	30	43.3	83.3	33.3
事業	通所系	43	20.9	58.1	25.6
	施設居住系	29	31.0	72.4	34.5
	訪問系	58	6.9	20.7	5.2

6 高齢者福祉等について

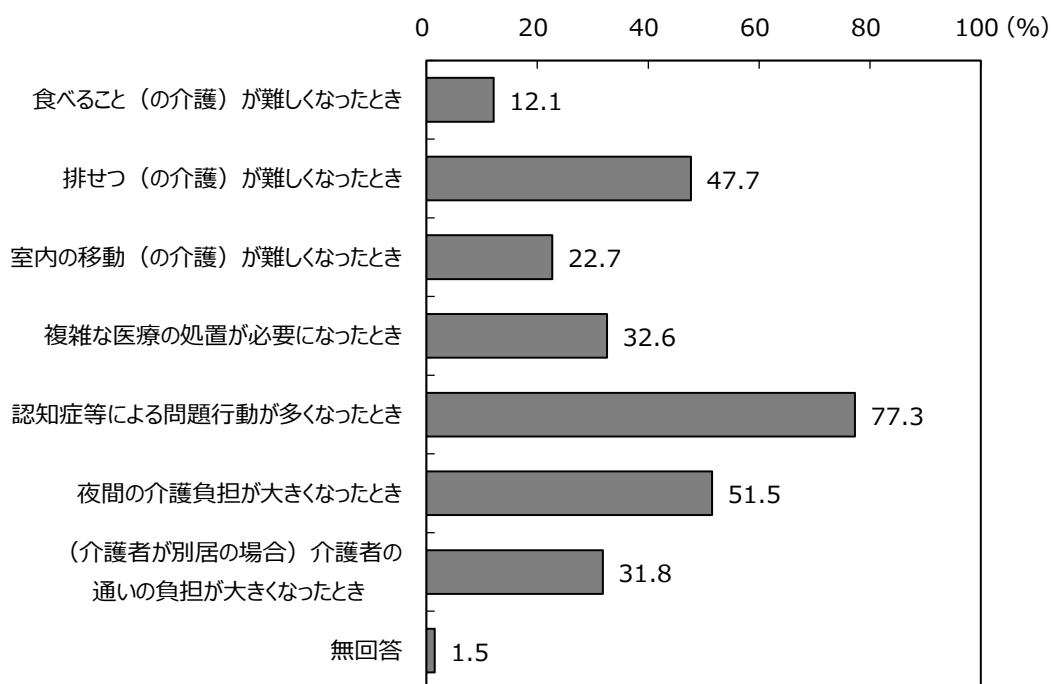
(1) 在宅での介護を断念し施設等へ入所する理由

- ご本人や家族等が特に、どのようなことで、自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。(○は3つまで)

n=132

「認知症等による問題行動が多くなったとき」が 77.3%と最も高く、次いで「夜間の介護負担が大きくなったとき」が 51.5%、「排せつ（の介護）が難しくなったとき」が 47.7%となっています。

事業別でみると、施設居住系は「認知症等による問題行動が多くなったとき」「夜間の介護負担が大きくなったとき」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

	n	食べること（の介護）が難しくなったとき	排せつ（の介護）が難しくなったとき	室内の移動（の介護）が難しくなったとき	複雑な医療の処置が必要になったとき	認知症等による問題行動が多くなったとき	夜間の介護負担が大きくなったとき	（介護者が別居の場合）介護者の通いの負担が大きくなったとき	無回答	
従業員数	9人以下	40	17.5	50.0	30.0	40.0	72.5	42.5	25.0	0.0
	10～19人	32	9.4	40.6	15.6	37.5	65.6	43.8	40.6	6.3
	20～49人	28	14.3	57.1	14.3	25.0	82.1	57.1	46.4	0.0
	50人以上	30	6.7	43.3	30.0	23.3	90.0	66.7	20.0	0.0
事業	通所系	43	20.9	46.5	30.2	32.6	76.7	39.5	23.3	0.0
	施設居住系	29	3.4	62.1	24.1	13.8	93.1	69.0	27.6	0.0
	訪問系	58	10.3	43.1	17.2	39.7	69.0	53.4	37.9	3.4

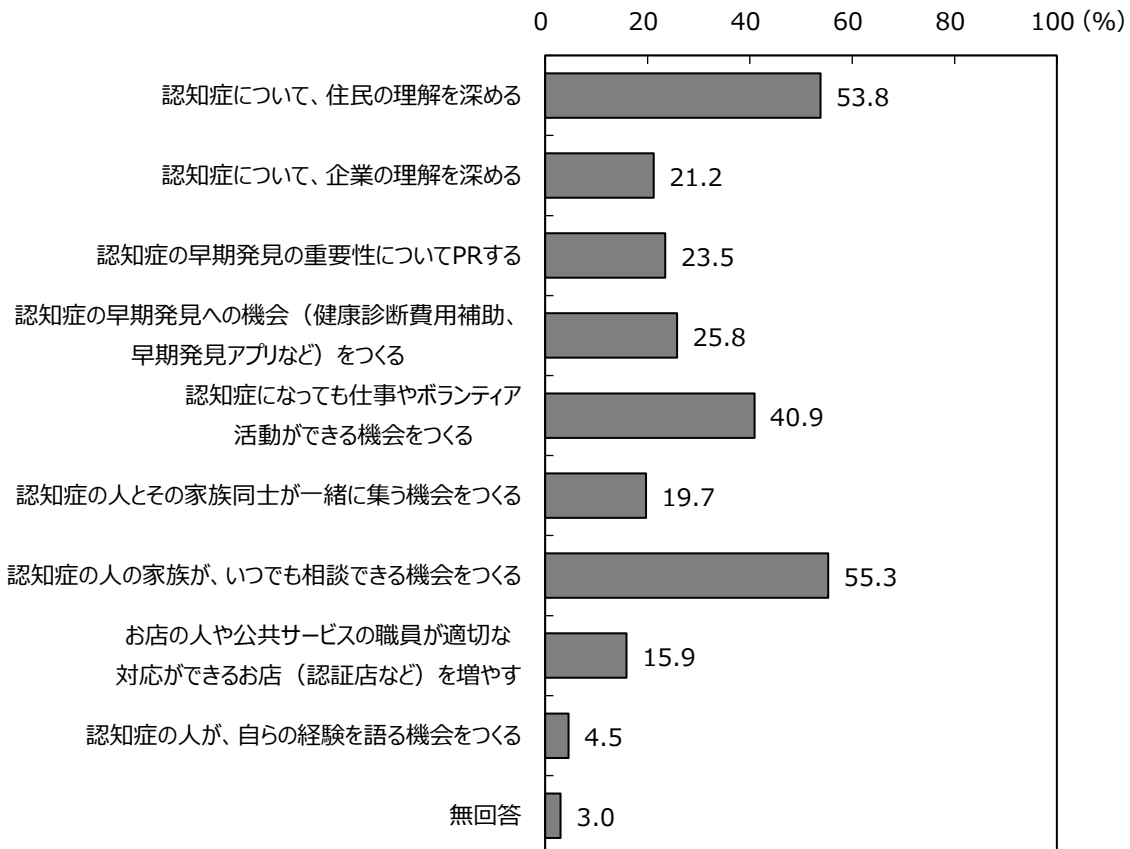
(2) 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために

■ 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(〇は3つまで)

n=132

「認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる」(55.3%)、「認知症について、住民の理解を深める」(53.8%)、「認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる」(40.9%)が高くなっています。

事業別でみると、施設居住系は「認知症について、住民の理解を深める」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	認知症について、住民の理解を深める	認知症について、企業の理解を深める	認知症の早期発見の重要性についてPRする	認知症の早期発見への機会（健康診断費用補助、早期発見アプリなど）をつくる	認知症になって仕事やボランティア活動ができる機会をつくる	認知症の人と家族同士が一緒に集う機会をつくる	認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる	お店の人や公共サービスの職員が適切な対応ができるお店（認証店など）を増やす	認知症の人が、自らの経験を語る機会をつくる	無回答
従業員数	9人以下	40	40.0	17.5	15.0	20.0	45.0	22.5	62.5	20.0	7.5	2.5
	10～19人	32	50.0	28.1	28.1	25.0	37.5	15.6	53.1	3.1	3.1	9.4
	20～49人	28	64.3	25.0	28.6	25.0	39.3	25.0	53.6	7.1	3.6	0.0
	50人以上	30	66.7	16.7	23.3	33.3	43.3	16.7	50.0	26.7	3.3	0.0
事業	通所系	43	58.1	25.6	27.9	23.3	39.5	11.6	46.5	18.6	2.3	4.7
	施設居住系	29	75.9	10.3	24.1	31.0	41.4	24.1	55.2	20.7	3.4	0.0
	訪問系	58	39.7	24.1	19.0	25.9	39.7	24.1	62.1	12.1	6.9	3.4